



## 地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さまと協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.16

### 地域連携病院⑫「きたじま田岡病院」

今回は、リハビリテーションに力をそそぐ、きたじま田岡病院を紹介します。

#### ■ 住み慣れた地域での治療を推進

「きたじま田岡病院」は、患者さんが住み慣れた地域で最適な治療を受けられるように日々努めています。さまざまな診療科を備えており、急性期の治療だけでなく、回復期の治療にも対応しています。なお、高度医療を徳島大学病院で受けた後の患者さんを受け入れたり、徳島大学病院からの医師派遣を推進したりなど連携を深めています。

また、年間約600台の救急車を受け入れるなど救急指定病院として大きな役割を果たしています。県内では緊急の骨折患者さんを受け入れる病院が少ない中、「きたじま田岡病院」は内科医と外科医が常置しているので、糖尿病等の疾患を持つ骨折患者さんにも対応することができるのとことです。

#### ■ 質の高いリハビリテーションの提供

治療や手術を終えた患者さんが安心して在宅で生活できるためには、十分なリハビリテーションを受ける必要があります。そこで「きたじま田岡病院」では、優秀な人材を配置するだけでなく施設や設備を充実さ

せ、質の高いリハビリテーションを提供しています。回復までの期間が短いことや、「他病院で治療を受けていてもリハビリテーションはきたじま田岡病院で」という患者さんが多いことが、何よりの証拠です。また、増設中の病棟用リハビリテーション施設が完成すれば、現在の1.5倍の広さとなり、リハビリテーションの更なる充実が期待されています。

#### ■ 地域活動を強め、より信頼される病院へ

「きたじま田岡病院」は、積極的に地域での講演活動に取り組んでおり、その分かりやすい内容と職員の気さくな対応が好評で、今では地域の老人会や婦人会、自治体から月に1回程度の講演依頼があり、地域になくはない存在となっています。

最後に、宮本理事長は「患者さんが元気に在宅に戻り社会復帰できるように質の高い医療を提供していきたい。また、さらに地域活動を発展させるとともに、若年層へのリハビリテーションにも力を入れていきたい」と今後の意気込みを話してくれました。

#### 「地域医療連携」について

徳島大学病院地域医療連携センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しを目指して、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。



■ 問い合わせ  
医療法人 きたじま倚山会  
きたじま田岡病院  
板野郡北島町鯛浜字川久保  
30番地1  
Tel. 088-698-1234

■ 説明は、左上から  
宮本 貴由 (みやもと よしゆき) 理事長  
新田 かおる (にった かおる) 看護総師長  
尾形 雄司 (おがた ゆうじ) 事務課長  
折村 秀美 (おりむら ひでみ) 看護副部長  
小笠 公美 (おがき ひとみ) 医療ソーシャルワーカー社会福祉士